

学校教育目標：夢をもち 仲間とともに 学びを深める子どもの育成



じゅんゆうっ子

～夫子循循然善誘人～

学校便り 11号

令和5年11月7日

児童数 308名

5年+1

文責 井原 竹始

修学旅行に行ってきました



10月25日(水)～26日(木)の一泊二日で、6年生と一緒に長崎に修学旅行に行ってきました。6年生の子供たちにとっては、小学校生活の中でも、特に思い出に残る行事の一つです。

子供たちは、以下の4つの目的をもって修学旅行に臨みました。

○被爆地である長崎の原爆資料館や建造物などを見学し、戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶ。

○異国との交流を通して発展した長崎の歴史と文化を知る。

○集団行動を通して、「時間を守る」「話を聴く」「きまりを守る」ことの大切さを学ぶ。

○仲間づくりやグループ活動等を通して、交友を広げ、友情を深める。

1日目は、平和学習を行いました。長崎についてすぐ、実際に戦争、原爆を経験された語り部さんの話を聴き、戦争の恐ろしさ、悲惨さ、平和の大切さを感じ取っていました。「平和のバトン」をつなぐ役を託され、子供たちもその役の大切さを感じ、学校に帰り下級生にしっかり伝えようという思いをもっていました。その後、爆心地公園で、平和集会を行いました。全校児童が折った千羽鶴を平和への願いを込め奉納しました。平和公園で昼食をとった後、グループごとに平和学習フィールドワークを行いました。城山小、山里小、如己堂、永井隆記念館、浦上天主堂、山王神社等をグループの友達と一緒に回りながら、学習を深めていました。最後に、原爆資料館で様々な資料を見て平和学習のまとめとしました。

2日目は、長崎の歴史と文化についての学習を行いました。長崎歴史文化博物館で学習した後、グループごとに歴史学習フィールドワークに出発しました。眼鏡橋、出島、シーボルト記念館、新地中華街、オランダ坂、中国歴史博物館、グラバー園等の中から、自分たちが選んだところを、チンチン電車に乗ったり、歩いたりして回っていました。昼食もお小遣いと相談しながら、自分たちで選び、その途中でグループごとに食べました。お土産選びも楽しそうでした。楽しみながら、長崎の歴史と文化を学んでいました。

修学旅行の目的をしっかり達成することができていたと思います。2日間の中で、6年生の素晴らしさを見つけたので紹介します。(全校朝会でも紹介しました)

1つ目は、「時間をしっかり守っていました」

集合時刻に送れる人は、一人もいなかったです。余裕をもって行動できていました。

2つ目は、「グループの友達のことを考えて行動していました」

グループごとにまとまって見学する約束を守り、自分のことだけでなく、友達のペースも考えていて素晴らしかったです。

3つ目は、「それぞれ自分の役割をしっかり果たしていました」

出発式、平和集会、フィールドワーク、入館式、退館式、帰校式等で様々な役割があったのですが、全員一生懸命やっていました。

4つ目は、「真剣に学ぶときと、いっぱい楽しむときの区別ができていました」

ジャズコンサート開催



10月23日(月)にジャズコンサートを開催しました。循誘小の卒業生である吉木稔さんら3名が、循誘小学校の子供たちのためにということで開催してくださったものです。一般的に考えると、ジャズはちょっと大人の雰囲気、対象ももっと上かなと思われるのではないのでしょうか。私もそんなイメージだったのですが、今回はまったく違っていました。「音を楽しもう」というテーマで、静かに聴く必要はないし、自由な姿勢で、体も動かしていいし、とにかく音を体全体で感じ楽しんでほしいというねらいで行われました。演奏されている方の周りに自然と子供たちも集まり、音楽に合わせて踊ったり、手拍子したりにぎやかなコンサートになりました。リズム遊びでは、ドラムで刻まれるリズムをしっかり聴き、手拍子でリズムを返し、会場全体が一体となりました。子供たちにとって楽しい時間となりました。また、来年も来てくださると嬉しいなと思っています。

循誘ふれあいふるさと祭り参加



10月28日(土)に、第10回循誘ふれあいふるさと祭りが開催されました。4～6年生はポスター作成に参加し、地域の方へ周知する役を担いました。開会宣言の後、ポスター入賞者の表彰もあり、受賞した子供たちは嬉しそうでした。5・6年生は、運動会で踊った「循誘ソーラン 2023」を披露し、祭りを盛り上げました。総踊りにも子供たちが参加し、楽しんでいる様子が見られました。今年は天候もよく、子供たちも多数参加し、昨年以上に盛り上がっていたと思います。地域の祭りは温かく、素敵だなと感じました。地域の中で育っていく子供たちの姿を見て、嬉しくもなりました。

素敵な行動に出会いました

先日、夕飯を食べにある店に行きました。7時ごろに店に入ったのですが、満席だったので名前を書いて待つことにしました。待合室も満席で、しばらく立って待っていました。待合室の席が空き座って待っていると、小さい子供を連れた親子5人が店に入ってきました。その親子も名前を書き、順番待ちをされていました。席を譲ろうかと考えていた時、高校生か大学生ぐらいの3人組がそれに気付き、さっと席を立ち、その親子に「どうぞ」と席を譲ったのです。その行動がとても自然で、しかも笑顔でした。3人組の行動に感動しました。

最近の若者は、自己中心的で…等言われますが、とんでもない。こんな素敵な行動ができる人がいることをもっと知るべきで、発信すべきだと思います。学校、家庭、地域で素敵な行動を見つけ、承認し、紹介し、広げていきたいものです。現在学校で行っている名人紹介、道徳授業が子供たちの心を育て、素敵な行動に繋がっていくといいなと思います。